

ID:	=患者情報!B1			(mFOLFOX6 + ニボルマブ) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2		殿						
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	入院/外来	入力日	年	月	日	
疾患名	切除不能な進行・再発の胃癌				開始日	年	月	日	
クール	2週毎				診療科				
備考	HER2、PD-L1遺伝子変異の有無を考慮した上で、適応患者の選択を行うこと				医師名				
重要	B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。						<input type="checkbox"/> HBs抗原		
	※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。						<input type="checkbox"/> HBs抗体		
適応基準	<input checked="" type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降			告知の有無	P	S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済	
	<input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発			身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00 m ²
	<input checked="" type="checkbox"/> HER2陰性			外来化療加算					

第1日目

<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> 対象外

投与量	
ニボルマブ	240mg/body
オキサリプラチン	85mg/m ²
レボホリナート	400mg/m ²
フルオロウラシル(bolus)	400mg/m ²
フルオロウラシル	2400mg/m ²

ボトル①

オプジーボ注 [ニボルマブ] 240 mg

生食液(100mL) 100 mL

★体重30kg未満患者の溶解液注意★
※オプジーボ投与量(24mL) + 生食液(100mL) = 124mLに設定
※総量は体重30kg以上の患者は150mL以下、30kg未満の患者は100mL以下とする。

ボトル②

テキサト注(3.3mg) 6.6 mg

アロキシ点滴静注バッグ (0.75mg/50mL/袋) 1 袋

ボトル③

レボホリナート注 mg

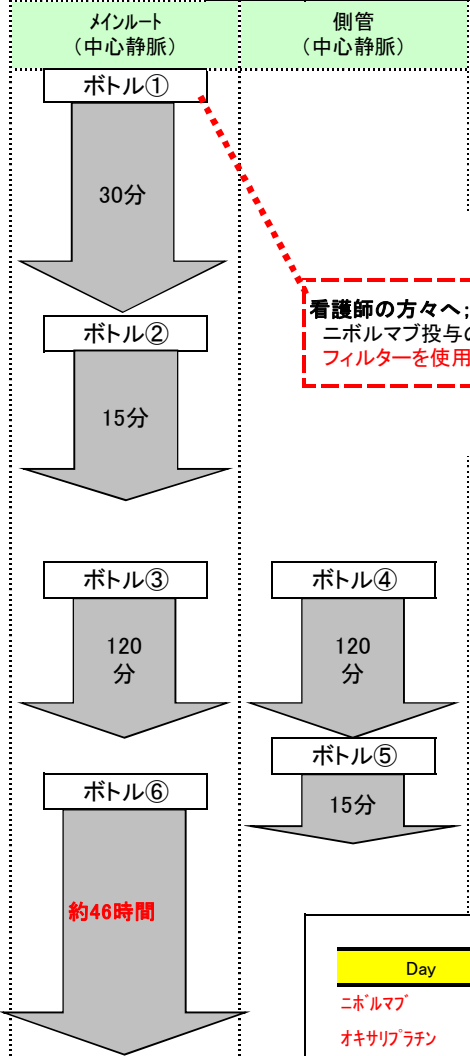
5%ブドウ糖液 250 mL

ボトル⑥

フルオロウラシル注 mg

生食液(100mL) 100 mL

※フルオロウラシル + N/S = 100mLに設定
(バクスターインフューザー-SV2.5使用)
2.5mL/hr



看護師の方々へ;
ニボルマブ投与の際は必ずPVCフリー輸液セット、フィルターを使用して下さい。

≪③及び④は、同時投与≫

ボトル④

オキサリプラチン注 [エルプラット] mg

5%ブドウ糖液 250 mL

※ 5-FUはルートを変更すること。

ボトル⑤

フルオロウラシル注 mg

5%ブドウ糖液 50 mL

≪⑤は、側管から全開≫

	1Kur目		2Kur目	
Day	1	15
ニボルマブ	↓		↓	
オキサリプラチン	↓		↓	
フルオロウラシル	↓		↓	

第2日目

注意) ポート埋め込みが完了しているのを確認すること。

Day 2 & 3 テカトロン錠(4mg) 2錠/2x(朝・昼食後)

注意事項など

	確認者	監査者